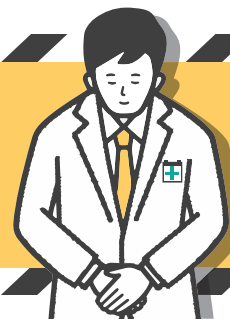


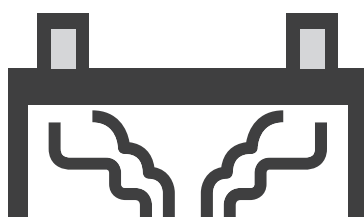


# バッテリー取付け・充電時の注意事項 安全上のお願い

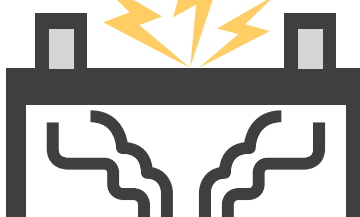


バッテリー取付け時にバッテリー周辺でスパーク(火花)が発生し、引火爆発するトラブルが増えています。

車両の走行後  
バッテリー充電後  
(内部に水素ガス充滿しています)



バッテリー周辺で  
スパーク(火花)発生



引火爆発



以下の点に特にご注意ください、バッテリーをお取扱いください。



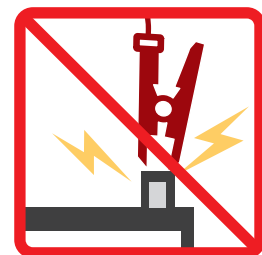
- バッテリー以外の金属(車体など)にあらかじめ触れて「静電気」を逃がしてからお取扱いください。
- バッテリーを乾いた布で拭かないでください。

ユーザー自身が持つ静電気ですパーク(火花)が発生し、バッテリーが引火爆発するおそれがあります。



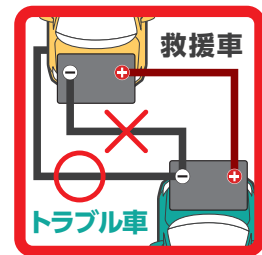
- 充電する場合は、充電器の電源を入れた状態で充電器の端子をバッテリーにつながないでください。
- 充電器の電源をOFFにする前に端子を外さないでください。

充電器の端子とバッテリーの端子間でスパーク(火花)が発生し、バッテリーが引火爆発するおそれがあります。



- ジャンプスタートする場合は、トラブル車のマイナス端子は救援車のエンジンの金属部分などに接続してください。  
(マイナス端子どうしを接続しない)

トラブル車両のマイナス端子と救援車両のマイナス端子をつないでしまうと端子間にスパーク(火花)が発生し、バッテリーが引火爆発するおそれがあります。



- 接続端子のゆるみがないように、しっかり取付けてください。
- 使用中も端子のゆるみがないか、定期的に点検をしてください。

端子の締付け過ぎは端子変形や破損、端子腐食の原因になります。端子が動かない程度までの締付けを行ってください。

